

## 令和6年度防災リーダーフォローアップ研修 実施要領

### 1 目的

防災リーダーに対する知識の普及・啓発を通じ、地域の自主防災活動の更なる推進に寄与することを目的とする。

### 2 各講座の日程

月日	時間	研修	定員
7月1日(月)	13時30分から16時30分	PM 基礎講座	120人
	17時00分から19時30分	夕方 特別講座(能登半島地震被災地支援報告)	
7月2日(火)	9時00分から11時30分	AM マイタイムライン・防災情報	80人
	13時30分から16時30分	PM イメージTEN	60人
7月5日(金)	9時00分から12時00分	AM HUG	80人
	13時30分から16時30分	PM DIG	
7月6日(土)	9時00分から11時30分	AM 特別講座(能登半島地震被災地支援報告)	120人
	13時30分から16時30分	PM 活動促進講座	
7月7日(日)	13時30分から16時30分	PM 実技講座	100人
7月18日(木)	9時00分から11時30分	AM 特別講座(能登半島地震被災地支援報告)	80人
	13時30分から16時30分	PM 災害への備え	
7月21日(日)	9時00分から12時00分	AM DIG	80人
	13時30分から16時30分	PM HUG	

### 3 各講座について

#### (1) 基礎講座

目的	基本的な防災知識の確認と防災リーダーの役割について認識を深める。		
対象者	防災に関する基本的なことを確認したい方や防災リーダーの資格を取得してから年数が経過して防災基礎知識を再確認したい方。		
内容(予定)	防災基礎知識(災害リスクととるべき行動【地震】【風水害】・避難先・防災情報)、防災リーダーの役割など ※オンライン講座は前年度の基礎講座と同内容		
日時	7月1日(月) 13時30分から16時30分	定員	120名
会場	市役所本庁舎4階 会議室		
オンライン受講	6月24日(月)から7月31日(水)までの期間に茅ヶ崎市ホームページ上に視聴動画を掲載。受講希望者の都合に合わせて受講可能。 (申込者へ受講に必要なURL等を送付)		

## (2) 実技講座

目的	救助・救出に関する基本的な取組方法や防災資機材に関する基本的な取扱方法の認識を深める。		
対象者	救助・救出に関する基本的な取組方法や防災資機材に関する基本的な取扱方法を確認したい方。		
内容 (予定)	地震対策：救助・救出、搬送法 火災対策：水消火器、移動式ホース格納箱 応急手当：心肺蘇生法、AEDの使用法、止血法、外傷の応急手当 避難所運営：避難所資機材の取扱い 簡易トイレ、給水袋の運搬体験 ※上記の研修項目は予定であり、変更する場合がある。		
日時	7月7日(日) 13時30分から16時30分	定員	100名
会場	屋内：市役所 本庁舎4階 会議室 屋外：市役所周辺 総合体育館前広場や総合体育館西側通路等		
託児サービス	実技講座は無料の託児サービスが利用可能。託児の可能年齢は生後6か月から未就学児まで。利用希望の方は研修の申し込みとあわせて、6月10日(月)までに利用者本人から防災対策課にご連絡ください。		
その他	実技講座は天候により中止または延期とする場合がある。		

## (3) 活動促進講座

目的	自主防災組織や防災リーダーの活動について理解し、地域防災活動の進め方等について認識を深める。		
対象者	基本的な防災知識を有しており、地域の防災活動をより進めたいと考えている方。		
内容 (予定)	座学：自主防災組織や防災リーダーの防災活動の在り方について グループワーク：自主防災組織や防災リーダーの理想とする姿を想定し、平常時の取り組みを考える		
日時	7月6日(土) 13時30分から16時30分	定員	120名
会場	市役所本庁舎4階 会議室		

#### (4) 特別講座（能登半島地震被災地支援報告）

目的	職員の能登半島地震での被災地支援活動の報告をふまえて、各家庭や地域での備えについて認識を深める。		
対象者	地域の防災活動に積極的に関わりたいと考えている方。		
内容 （予定）	能登半島地震被災地支援で派遣した職員から被災地支援の活動報告と被災地で感じたことについての講話。各家庭や地域での日頃の防災活動の重要性についてお伝えします。		
日時	7月1日（月） 17時00分から19時30分	定員	120名
	7月6日（土） 9時00分から11時30分		
	7月18日（木） 9時00分から11時30分		
会場	市役所本庁舎4階 会議室		

#### (5) 指導者育成講座

目的	防災知識や地域の災害リスクを把握するとともに、防災教材等を用いて地域での防災訓練や研修で指導員として普及啓発に努める役割を育成する。
対象者	地域の防災訓練や研修等で、指導者や補助者として携わりたいと考えている方。

※本研修受講者は、市や地域が主催する研修・訓練の際に指導者・補助者として協力いただく予定。

※申し込みが10人に満たない場合は中止とする場合があります。

※申し込みの状況に応じて受講日変更のお願いをする場合があります。

#### ア HUG

内容	避難者の情報が書かれたカードを避難所となる体育館や教室に見立てた紙の上に配置する。避難所で起こる様々な出来事への対応を通じ、避難所の受入について認識を深める。		
日時	7月5日（金）9時00分から12時00分	定員	80名
	7月21日（日）13時30分から16時30分		80名

#### イ イメージTEN

内容	災害時に自主防災組織がどのように対応したらよいかを具体的に考えるイメージトレーニング。自主防災組織本部の様子を時系列で類似体験する。
----	--

日時	7月2日（火）13時30分から16時30分	定員	60名
----	-----------------------	----	-----

## ウ DIG

内容	地域にある防災資源や災害時に活用ができるような資源、危険箇所を平常時から把握し、災害時の対応策について検討を行う図上訓練。		
日時	7月5日（金）13時30分から16時30分	定員	80名
	7月21日（日）9時00分から12時00分		80名

## エ マイタイムライン・防災情報

内容	風水害のリスクを令和5年度に作成した高潮ハザードマップ等を用いて把握し、防災行動を時系列的に整理するとともにマイタイムラインの作成方法を習得する。また、防災情報の取得方法や災害時に必要とする情報の取扱いを習得する。		
日時	7月2日（火）9時00分から11時30分	定員	80名

## オ 災害への備え

内容	令和6年元旦に発生した能登半島地震もあり、防災意識が高まっていることから、防災意識の普及啓発の強化が求められる。家庭における災害発生時に向けた平素に取り組むべき備えを習得するとともに、地域で「災害への備え」を普及啓発する方法を習得する。		
日時	7月18日（木）13時30分から16時30分	定員	80名

## 4 研修の申し込み

「令和6年度防災リーダーフォローアップ研修の申込方法について（別紙2）」に記載のいずれかの方法で6月10日（月）までに申し込み

## 5 定員超過時の対応

各講座において、申し込みが定員を超過した場合は、抽選とする。

## 6 服装

基礎講座 応用講座 指導者育成講座	研修受講中は、防災リーダーベストを着用する。
実技講座	ヘルメット・防災リーダーベストを着用する。 動きやすい服装、運動靴を着用する。サンダルは不可。

## 7 中止または延期

研修当日、気象警報等が発表されている場合は研修を中止する場合がある。また、実技講座は屋外で実施することから、天候により研修を中止する場合がある。

## 8 その他

- ◎研修の詳細や当日の集合場所等については、後日受講者へ受講決定通知書を送付する。
- ◎実技講座は屋外で実施することから、熱中症予防のため、参加者自身で水分・塩分を持参すること、こまめに水分・塩分を補給すること。
- ◎貴重品は参加者自身で管理すること。